鴻陵生へ（校長室だより）

平成26年5月26日　NO.1

発行　校長　本城　学

初めまして　－鴻陵祭と鴻陵魂について－

改めて、初めまして。校長の本城です。年に何回か、鴻陵生に向けて情報発信をしたいと思います。よろしくお願いします。

第１回考査が終了し、このあとは、日々の学習と部活動、そして鴻陵祭に向けた準備が始まるのでしょうか。色々な方に鴻陵祭の素晴らしさを聞くので、大変楽しみにしています。まだ３ヵ月先の鴻陵祭ですが、現時点で私が考えていることを伝えます。見ていないことを、したり顔（得意そうな顔付き）で言うことはできないので、あくまで一般論です。また先日届いた、年度初めのスタディサポートの結果にも触れたいと思います。

私が国府台高校への赴任が決まった時、１０数年前に本校から転勤した先生から次のように伺いました。「部活動を最後までやり、鴻陵祭で主役を演じ､そして第一希望の大学に現役で合格する、それが鴻陵生のかっこよさです」と。鴻陵生の美学。素晴らしいと思いました。

また、赴任後本校の資料を読んでいて、１０年ほど前の『進路のしおり』に、合格体験記として先輩のこんな文章を見つけました。

「学部学科（Ｔ大文Ｉ）を選んだ理由は、『俺が希望している国際弁護士になるのに最も良い環境であること。』そして後輩へのアドバイスには『予備校の東大クラスで色々な人を見ました。学校行事やその練習をサボっている奴等。学校行事と受験勉強を両立させることができない奴等が浪人して東大に入り、個人主義で権限を利用して腐敗官僚となる。こんなの嫌だ。だから、学校行事に取り組む情熱のあるあなた方には、受験勉強との両立をさせて頑張って欲しい。』」とあります。ここには学ぶことの目的と高い志があります。根底に社会の中で自分を役立たせようという、荒っぽいほどの若い正義感を感じます。私はこの文章の先輩に、鴻陵生の美学、そして鴻陵魂のひとつの姿を見ました。（右上へ）

○生徒の意見も聞きたいと思い、校長室前に「意見箱」を設置しました。皆さんの投函を待っています。
○ＨＰに国府台高校の日々の様子を載せています。ご覧下さい。

物事には、目的と目標があります。皆さんの場合、目的は「何のために学ぶのか」であり、そのために必要な学びの「場所（大学等）」が目標です。優れた学生が集まれば、そのニーズと期待に応えた学びがあると考えられます。より難関な場所（大学等）を目指すことは自然なことだし、向上心は成長の必須条件です。しかし、皆さんにはまず目的（何をするのか、何になりたいのか）をしっかり考え見つけて欲しいと思います。その後、あるいは同時進行で、具体的目標に向かって行って欲しい。忙しい鴻陵生にとって、具体的目標の実現は、時間の管理と集中力にかかっています。自主自律が問われています。

長々書きました。鴻陵祭。結論はいたってシンプルです。３年の夏の１ヶ月弱が受験の負担にならないよう、その前に継続的・計画的に勉強すべきです（１年から、目的・目標を立てて自らのモティベーションとすべき）。文武両道はたやすい道ではありませんが、日々の努力の継続が達成に導いてくれるものです。

しかし、にもかかわらず、先日返ってきたスタディーサポートの結果からは、鴻陵生の少ない家庭学習の様子が見て取れます。ある学年の平均家庭学習時間、実に「１９.８分」！。進学校・国府台高校へ期待を胸に赴任した私には、少し残念な数字でした。この２ヶ月、様々に伝統文化を引き継ごうとする諸君は素晴らしいと思いました。では、鴻陵生の美学、鴻陵魂はどうでしょうか。

学校に、特色としての文化があることは素晴らしいことです。また、伝統校は魂（目的、志）を持った、器の大きな人物を世に輩出すべきだと思っています。鴻陵祭やその経験がそれに当たるのかどうかは、見ていない私には軽々には言えません。しかし、今は、鴻陵祭が人を大きく育てる、そう信じて楽しみにしています。もしそこに課題があるなら、一緒に検討していきましょう。

自宅学習時間が１時間未満の人、気合いを入れて下さい。そして、３年の夏になって鴻陵祭を「言い訳」に使うようなことにならないよう、いつ頑張りますか？　○○でしょ。頑張って下さい。鴻陵生なら、きっと出来ます。